



平成26年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月25日

上場会社名 株式会社 ラクーン

上場取引所 東

コード番号 3031 URL <http://www.raccoon.ne.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小方 功

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当副社長 (氏名) 今野 智 TEL 03-5652-1711

四半期報告書提出予定日 平成26年3月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年4月期第3四半期の連結業績(平成25年5月1日～平成26年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第3四半期	7,601	4.9	183	37.8	183	41.6	106	36.8
25年4月期第3四半期	7,244	8.0	133	23.3	129	26.8	77	△13.5

(注) 包括利益 26年4月期第3四半期 105百万円 (34.4%) 25年4月期第3四半期 78百万円 (△10.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年4月期第3四半期	18.94	18.51
25年4月期第3四半期	14.23	13.86

(注) 当社は、平成25年5月1日付で普通株式1株につき300株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年4月期第3四半期	2,818	1,527	54.1	261.13
25年4月期	2,837	1,344	47.3	246.54

(参考) 自己資本 26年4月期第3四半期 1,526百万円 25年4月期 1,343百万円

(注) 当社は、平成25年5月1日付で普通株式1株につき300株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年4月期	—	0.00	—	1,200.00	1,200.00
26年4月期	—	0.00	—	—	—
26年4月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注1) 当社は、平成25年5月1日付で普通株式1株につき300株の株式分割を行っております。平成25年4月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

(注2) 現時点において、平成26年4月期末の配当予想は未定であります。

3. 平成26年4月期の連結業績予想(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	5.2	220	21.5	210	19.3	125	△6.0	22.94
	～10,600	～8.3	～230	～27.1	～220	～25.0	～135	～1.5	～24.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年4月期3Q	5,844,600 株	25年4月期	5,448,600 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年4月期3Q	46 株	25年4月期	— 株
----------	------	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年4月期3Q	5,596,373 株	25年4月期3Q	5,448,600 株
----------	-------------	----------	-------------

(注)当社は、平成25年5月1日付で普通株式1株につき300株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済・金融政策への期待感から為替や株式相場が長期低迷を脱して比較的堅調に推移し、企業業績や景気は緩やかな回復傾向で推移いたしました。一方で消費税増税の影響が懸念されております。また、世界経済においては米国経済が堅調に推移しているものの、新興国の経済成長の鈍化・欧州景気の低迷などを背景に先行きは依然として不透明な状態が続いております。

このような状況の中、当社グループはEC事業と売掛債権保証事業の事業規模拡大に努めてまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,601,524千円（前年同期比4.9%増）となりました。この他、営業利益183,739千円（前年同期比37.8%増）、経常利益183,637千円（前年同期比41.6%増）、四半期純利益106,022千円（前年同期比36.8%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

①EC事業

EC事業におきましては、主力事業である「スーパーデリバリー」において、引き続き質の高い会員小売店及び出展企業を獲得した上で、客単価や稼働率の向上を図り、両者の継続した取引を拡大することで商品売上高を増加させていくことに取り組んでおります。

当第3四半期連結会計期間中における具体的な取り組みといたしましては、平成25年11月18日より、商品ごとの「売れ行き状況」がわかる機能の提供を開始しております。これは、「スーパーデリバリー」の中で「どの商品がどの時期にいくら売れたのか」というデータを公開するものです。現在約45万点の商品を取り扱っている「スーパーデリバリー」で、会員小売店が仕入を行う際の判断材料が増え、ネットを利用した仕入を活性化させる効果があると見込んでいます。

この結果、「スーパーデリバリー」の商品売上高は、6,854,359千円（前年同期比3.9%増）となりました。なお、当第3四半期連結会計期間末における「スーパーデリバリー」の経営指標は会員小売店数39,339店舗（前期末比2,799店舗増）、出展企業数934社（前期末比27社減）、商材掲載数445,806点（前期末比76,087点増）となりました。

一方、「Paid」におきましては、引き続き加盟企業とPaidメンバーの増加を図ることで取扱高を順調に伸ばしました。

この結果、EC事業の売上高は7,332,042千円（前年同期比3.9%増）、セグメント利益は104,560千円（前年同期比1.7%増）となりました。

②売掛債権保証事業

売掛債権保証事業におきましては、引き続き営業力強化に取り組むことで保証残高の拡大を図っております。

この結果、保証残高（連結グループ内の保証残高555,764千円を含む）は4,206,170千円（前期末比14.0%増）となりました。売掛債権保証事業の売上高は370,680千円（前年同期比34.6%増）、セグメント利益は56,282千円（前年同期比308.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より18,948千円減少して2,818,664千円になりました。流動資産は3,653千円増加して2,455,014千円になりました。増加の主な要因は取引の減少により売掛金が105,375千円減少した一方で、売掛債権保証事業にかかる再保険の支払いによる影響で前払費用が37,210千円増加したこと、短期借入金により現金及び預金が100,613千円増加したことなどによるものです。固定資産は22,602千円減少して363,649千円になりました。減少の主な要因はソフトウェアとソフトウェア仮勘定が合計で49,311千円増加した一方で、通常の減価償却に加え、今後利用しないと判断した一部のソフトウェアの耐用年数の変更による減価償却費の計上とソフトウェアの減損により、ソフトウェアが52,066千円減少したこと、のれんの償却費用7,290千円の計上などによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末より201,794千円減少して1,291,253千円になりました。流動負債は75,915千円減少して1,258,253千円となりました。減少の主な要因は借入により短期借入金が100,000千円増加、また、1年内返済予定の長期借入金が長期借入金からの振替で26,603千円増加し、返済により71,993千円減少した一方で、取引の減少により買掛金が94,130千円減少したことなどによるものです。固定負債は125,879千円減少して33,000千円になりました。減少の主な要因は転換社債型新株予約権付社債が転換により99,000千円減少したこと、長期借入金が1年内返済予定の長期借入金に振替えられたことにより26,603千円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末より182,846千円増加して1,527,410千円になりまし

た。増加の主な要因は転換社債型新株予約権付社債の転換により資本金と資本準備金が合計で99,000千円増加したことと、四半期純利益106,022千円の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月中旬より、新規事業「COREC(コレック)」のサービス提供を開始する予定です。主力事業「スーパーデリバリー」は、アパレル・雑貨の中小企業をターゲットにしているサービスですが、「COREC」は企業の業種や規模を問わず、すべての企業にご利用いただけるクラウド受発注ツールです。同じく利用企業の業種や規模に縛られない「Paid」、「T&G売掛保証」に続くサービスとして、多くの企業に利用していただき積極的に事業を拡大していきたい考えです。(サービス詳細につきましては、平成26年1月23日公表の「<新規事業のお知らせ>クラウド受発注ツール「COREC(コレック)」を3月中旬より開始」をご参照ください。)

なお、平成25年6月7日公表の平成26年4月期の業績予想では、「COREC」の投資額のうち、損益影響額 20百万円程度を費用として織り込んでおります。また、今期は全ての機能を無料で提供し、有料化は来期以降を予定しております。そのため、当期(平成26年4月期)の業績に与える影響は業績予想に織り込み済みの約20百万円の費用を除きございません。

以上、業績予想につきましては概ね予定通りに推移しており、現時点においては前回公表時より変更はありません。

上記に記載した将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	857,245	957,858
売掛金	1,389,530	1,284,155
求償債権	27,514	28,114
貯蔵品	413	278
前払費用	34,531	71,742
繰延税金資産	137,472	108,388
その他	7,563	11,651
貸倒引当金	△2,910	△7,174
流動資産合計	2,451,360	2,455,014
固定資産		
有形固定資産		
建物	16,989	16,989
減価償却累計額	△8,321	△9,310
建物(純額)	8,667	7,678
車両運搬具	2,189	2,189
減価償却累計額	△1,179	△1,431
車両運搬具(純額)	1,010	757
工具、器具及び備品	19,388	20,761
減価償却累計額	△9,126	△9,605
工具、器具及び備品(純額)	10,262	11,156
有形固定資産合計	19,940	19,592
無形固定資産		
ソフトウェア	144,908	178,871
ソフトウェア仮勘定	65,116	28,398
のれん	73,710	66,420
その他	1,194	1,111
無形固定資産合計	284,930	274,801
投資その他の資産		
投資有価証券	12,153	11,479
敷金及び保証金	40,264	40,062
繰延税金資産	28,880	17,629
その他	83	83
投資その他の資産合計	81,381	69,254
固定資産合計	386,251	363,649
資産合計	2,837,612	2,818,664

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,009,253	915,122
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	85,744	40,354
未払金	46,076	44,484
未払法人税等	18,916	28,199
保証履行引当金	33,660	19,394
賞与引当金	29,068	16,503
役員賞与引当金	7,000	—
販売促進引当金	17,330	18,460
その他	87,120	75,734
流動負債合計	1,334,168	1,258,253
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	99,000	—
長期借入金	52,750	26,147
資産除去債務	1,715	1,732
その他	5,414	5,120
固定負債合計	158,880	33,000
負債合計	1,493,048	1,291,253
純資産の部		
株主資本		
資本金	744,900	794,400
資本剰余金	132,372	181,872
利益剰余金	465,294	549,522
自己株式	—	△34
株主資本合計	1,342,566	1,525,759
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	724	451
その他の包括利益累計額合計	724	451
新株予約権	1,273	1,199
純資産合計	1,344,564	1,527,410
負債純資産合計	2,837,612	2,818,664

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)
売上高	7,244,719	7,601,524
売上原価	6,043,596	6,286,544
売上総利益	1,201,122	1,314,979
販売費及び一般管理費	1,067,813	1,131,240
営業利益	133,308	183,739
営業外収益		
受取利息及び配当金	593	525
受取手数料	4,062	4,133
その他	1,150	1,278
営業外収益合計	5,806	5,937
営業外費用		
支払利息	3,552	1,390
社債利息	5,612	3,531
その他	292	1,119
営業外費用合計	9,457	6,040
経常利益	129,657	183,637
特別損失		
減損損失	—	1,140
本社移転費用	32,887	—
特別損失合計	32,887	1,140
税金等調整前四半期純利益	96,770	182,496
法人税等	19,252	76,474
少数株主損益調整前四半期純利益	77,518	106,022
四半期純利益	77,518	106,022

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	77,518	106,022
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,136	△272
その他の包括利益合計	1,136	△272
四半期包括利益	78,654	105,749
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	78,654	105,749
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年10月21日付で、転換社債型新株予約権付社債が行使されました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ49,500千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が794,400千円、資本準備金が150,816千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年5月1日至平成25年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	EC事業	売掛債権 保証事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,053,900	190,818	7,244,719	—	7,244,719
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	84,665	84,665	△84,665	—
計	7,053,900	275,484	7,329,385	△84,665	7,244,719
セグメント利益	102,791	13,774	116,565	16,743	133,308

(注) 1. セグメント利益の調整額16,743千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年5月1日至平成26年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	EC事業	売掛債権 保証事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,332,042	269,482	7,601,524	—	7,601,524
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	101,197	101,197	△101,197	—
計	7,332,042	370,680	7,702,722	△101,197	7,601,524
セグメント利益	104,560	56,282	160,842	22,896	183,739

(注) 1. セグメント利益の調整額22,896千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

重要性が乏しいため、記載を省略しております。